

トピックス

道路の老朽化対策パネル展を実施！ ～高齢化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に高齢化が進むことが確実で、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

道路は、国民の共用資産であり、少しでも長く使えるように、きめ細かい点検と修繕を行って次世代へ引き継いでいくことが必要と考えています。

一方で、多くの道路インフラを管理する地方公共団体は、予算・人員・技術の面で課題を抱えています。

静岡県内で管理している橋梁は、建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、現在22%ですが、今後20年後には71%まで急激に増加することや、厳しい日本の国土条件や交通荷重繰り返しなどの影響などにより橋梁が損傷している現状、また、点検方法や損傷の事例を紹介し、メンテナンス会議など道路管理者が連携している状況を紹介しました。

- ◇ 実施日時 平成28年1月18日(月)～21日(木)9:00～17:00
- ◇ 実施場所 JR静岡駅北口地下 広場イベントスペース
- ◇ 来場者数 約400名
- ◇ マスコミ取材 新聞2社 TV1社



パネル展会場の様子(1)



来場者に説明するスタッフ



パネル展会場の様子(2)



一角でインフラ整備のストック効果について広報しました